



校訓:『た』くましい体 『い』たわりの心 『し』っかり勉強

大志っ子

2025年2月3日
文責:上村 宗紀

委員会活動 新メンバーで活動開始

学校の教育活動の中には、自分たちの学校をより楽しく、向上・充実させるために、学校内の仕事を分担して処理し、いろいろな問題を解決する活動を自発的・自治的に実践させることをねらいとした委員会活動があります。

2学期までは5・6年生が仕事をしていたが、3学期は6年生からのバトンタッチで、4・5年生による活動を始めました。新しく加わった4年生、メンバーの入れ替えがあった5年生、どちらも6年生の仕事ぶりを見習い、張り切っている様子が伺えます。各委員会によって、仕事の内容は大きく異なりますが、学校をよりよくするため、自分たちで課題を見つけ、創意工夫した活動を期待しています。



学校給食週間

1月24日～30日は、全国学校給食週間でした。

子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は、子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしていると言えます。

各学級では、「給食の歴史」や「学校給食の意義」などの動画を視聴しました。

給食は、望ましい食生活のお手本となります。自然の恵みへの感謝の気持ち、わたしたちの食生活が多くの人の働きによって支えられていることへの感謝の気持ちをもって、給食をしっかりと食べてほしいものです。



なわとび大会

1月31日(金)、低・中・高学年ごとになわとび大会を行いました。内容は、短縄披露会(得意技披露と連続跳び)、大縄記録会(8の字跳び)です。子どもたちは、それまで体育の時間や休み時間に、短縄跳びのできる技を増やしたり、出来栄を高めたりしようと懸命に練習しました。大縄跳びでも、チーム力を高め記録を伸ばそうと頑張ってきました。

発達段階に応じて、技の種類や大縄の記録は異なりますが、どの学年も、生き生きと活動し、自分のもっている力をしっかりと披露したり、記録にチャレンジしたりすることができました。

応援に駆けつけてくださったご家族の皆様、ありがとうございました。



開校20周年記念式典

令和7年1月26日(日)、大志小学校開校20周年記念式典では、地域のご来賓の皆様、保護者の皆様に、多数お越しいただき、大盛況のうちの終えることができました。子どもたちは、会場の関係上、4～6年生が代表で参加しました。

式典の中では、児童代表のあいさつを6年生の原口瑠楓さんが務めました。そこでは、「卒業生・在校生が頑張ってきたこと」「支えていただいた方々への感謝の気持ち」「伝統を引き継ぐ決意」を大変立派な態度で述べてくれました。

「10年のあゆみ」スライドショーでは、懐かしい写真が次々に流され、感慨深い思いを抱かれた方が多かったことでしょう。

アトラクションは、5年生がダンスとフラッグを披露しました。やる気溢れる態度で披露し、これも見ごたえのある素晴らしいものでした。4月から最上級生となる5年生の頼もしさも感じました。

唐津出身の演歌歌手、六本木ヒロシさんによる基調講演も盛り上がりしました。登場されて瞬く間に、会場の人々も子どもも、六本木ヒロシさんの話術に引き込まれました。アカペラでの歌も、心に染み入りました。子どもたちの笑顔が溢れ、ステキな思い出となりました。



これまで式典の開催に向けて、協賛の依頼、記念誌の発行、式典の準備・運営、スライドショーの作成等で、多大なご尽力をいただいた実行委員会の皆様に心より感謝申し上げます。また、記念品として学校に大型スクリーンを購入していただきました。今後、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

この式典を通して、学校の主役である子どもたちの健やかな成長には、地域とのつながりが大切であることを改めて実感しました。これからも、「ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生きぬく児童の育成」を目指して、教職員一同、一丸となって努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様の引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いします。

